



## 喜多埜

## 〜 歯木(しばく) 〉

## 〜 御旅社七夕祭のご案内 〉

本年も七月六日〜七日の両日にわたって、茶屋町の御旅社にて、七夕祭を斎行致します。七夕は大陸の牽牛織女(彦星と織姫)の伝説と日本古来の天棚機比売(あめのたなばたひめ)の伝説とが相まって生まれた信仰といわれ、技芸の上達、恋愛成就を願う日とされ、笹の葉に願い事を記した短冊を結び星に祈りを捧げました。

当神社の御旅社において執り行われる七夕祭は、京都の北野天満宮に七月七日に行われる「御手洗祭(みたらしさい)」に倣い、神前に書道具を並べ供え、氏子崇敬者をはじめ参拝者みなさまの学問書道の上達を願い、また、御手洗の字の如く、心身の清浄を祈願致します。また、末社に玉姫稻荷神社という縁結び、女性守護の神さまをお祀りする所以から、縁結びにも御利益あらたかなるといわれ、特に若い女性からの信仰篤く、毎年、七夕祭の日には大変な人出で賑わいます。当日は、夕方午後四時から短冊奉納(一枚百円)などの行事を執り行ないます。夏の夜に、それぞれのお願い事を胸に、どうぞお参り下さい。

名称 七夕祭

日時 平成二十一年七月六日〜七日

午後四時〜午後十時まで

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社 御旅社 境内

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

今月四日からは歯の衛生週間です。当神社末社の歯神社でもお祭りが執り行なわれ、歯の大切さに思いを深くするよき機会といえるでしょう。

この歯の衛生週間では、歯ブラシの使い方についてなど、各地の歯科医師会などを中心に行われていますが、現在のような歯ブラシが世に出たのは明治時代になってからであり、それまでは「歯木(しばく・又は房楊枝)」という、木の枝で歯を磨いていました。

この歯木の原料には楊柳(ヨウリュウ・カワヤナギ)と呼ばれるヤナギ科の樹木が使われ、この柳の木にはサリシンという配糖体が含まれており、そのサリシンから風邪薬などに使われるアスピリンが作られます。この事からも非常に薬効成分が高いことが伺われますが、昔の人は実体験のうちにこの樹木が歯によい事を知っていたのでしよう。

この楊柳の枝で歯を磨くので「楊枝」という言葉も生まれ、小説の「木枯らし紋次郎」の啜る楊枝も実は歯木です。いまも日本三大奇祭の一つ、四天王寺の「どやどや」で奪い合う牛玉杖も実は歯木であり、歯の衛生に関して、日本は昔から先進国であった事が分かります。みなさまもどうか歯を大切に。

## 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応

編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

